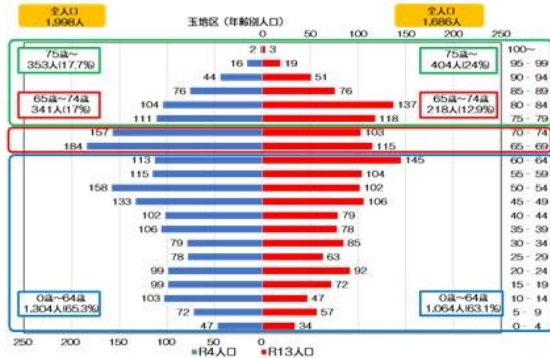


## 玉地区の現状

▶平成25年から令和4年までの10年間の人口と世帯数の推移

人口は減少しましたが、一方で世帯数は増加しており、単身世帯の増加、核家族化が進んでいると思われます。



### ◀令和4年と令和13年の年齢別人口の比較 (推定)

75歳以上の割合が増加する一方で0歳～64歳、65歳～74歳の割合が減少し、さらに若い年齢層になるにつれて人口数が減少する予想となっており、少子高齢化が進むと推測されます。

子育て世代も必見!

## 第2回玉地区意見交換会

# 子どもからお年寄りまでが 住みやすい地域にするために

## 2023年10月9日(月) 13時30分～15時30分

### 玉文化センター (原宿1380番地)

**対象** 玉地区にお住まいの方が関係のある方ならどなたでもOK! (小中学生、高校生、大学生の参加もお待ちしております)

**申込み** QRコードからお申込みいただくか、問い合わせ先にご連絡ください (当日参加もOK!)

お申込みはこちらから↓



### アドバイザー



渡邊 多恵子氏  
(淑徳大学大学院看護学研究科教授)

### 話し合いの内容

- ①第1回意見交換会の確認・意見の追加 (意見は内側に記載してあります)
- ②地域の関心ごとの順位付け
- ③関心ごとに対する取り組みしやすいことの順位付け

友達と一緒に参加しましょう!

お子様もOK! おもちゃもあるわよ

無料よ!

第1回意見交換会の参加者からの意見はこちら!

主 催 問い合わせ先

常総市 市民生活部 市民と共に考える課  
TEL 0297-23-2111 (代表)



渡辺 裕一氏  
(武蔵野大学教授)

将来、少子高齢化・人口減少に移行していくと推測されますが、このことは悪いことではなく、社会や地域の状況がそう変わっていくということです。それに伴って、地域で今まで出来ていたことが出来なくなったりと、地域活動も変わっていくので、皆さんで地域の今後を考えていきましょう。

60代～70代まで  
10名が参加!



### 第1回講演会・意見交換会の様子や参加者の感想



- ・いろいろな立場の方から話を伺い、参考になった。
- ・色々な意見があり納得した など

第1回意見交換会の参加者からの意見はこちら!

第1回意見交換会の内容、資料はこちらから⇒



## 1. 「この地域で暮らすあなたにとって地域で起きているどのようなことに関心がありますか？」

玉地区（第1回の意見） 令和5年4月16日開催

1

- ・子どもたちに危険な交差点あり
- ・安心安全で暮らせる地域づくり
- ・子どもたちの声が少なくなった
- ・少子化

- ・移動手段がない
- ・コミュニティバスがほしい



- ・教育環境さらなる整備充実



- ・高齢者の就業率が上がっている
- ・高齢化
- ・一人暮らし世帯が増えてきた

- ・自治会の今後
- ・新規加入が少ない
- ・経済的負担
- ・役員の順番制負担



- ・放煙地が多くなっている

- ・コミュニケーションをとる機会が減ってきた
- ・コロナで近所の付き合いが減った

- ・地域の人と人のつながりをつくる

- ・近くに買い物できる場所が少ない
- ・玉地区からの買い物が多いと感じる
- ・移動スーパーにほしいものがない



2

- ・道路に草や木が出ているので、処理してほしい
- ・雨が沢山降ると、道路がぐちゃぐちゃ

- ・ゴミ捨て場のルールが守られていない



- ・介護予防教室への男性参加者を増やしたい
- ・男性の居場所

- ・屋根家に一人にいるので、心配

- ・地域の人たちのつながり

- ・日中家の中に入ってくる犯罪が報道されているので不安

- ・コロナ禍になり、近所との会話が減った
- ・市報の配りものが大変になった

- ・高齢世帯の増加

- ・防災ラジオは火事が流れないので意味がない

- ・空き家が気になる

- ・近くにお店がないから、車がないととても困る



## 2. 「あなたが暮らしたいまちはどんなまちですか？」

1

- ・近隣を気づかえるまち
- ・負担の少ないゆるやかなネットワーク



- ・食料品を高齢者でも買いやすいまち
- ・コミュニティバスがあるまち
- ・買い物や病院へ行く交通手段があるまち
- ・病院に一人で行ける交通手段がほしい



- ・地域で子育てできる環境をつくる

- ・自治会の活性化

- ・誰でも挨拶できるまち

- ・安心安全で暮らせる生活



- ・地域一体となった活動の実施
- ・高齢者が参加しやすい公民館活動の活発化
- ・地域での住民共同作業が復活できれば
- ・せめて50m以内の近所付き合いが復活してほしい
- ・向こう三軒両隣の付き合いがあれば



2

- ・活気あるまち 若夫婦が多く住めるまち



- ・近くで買い物ができるまち

- ・現状維持でよい



- ・いつまでも健康で暮らせるまち

- ・自由に集まることのできる場があるとよい

- ・何かあったときに近所で連絡がとれるまち

